

令和 8 年度

全国衛生管理者協議会総会

議 事 録

1. 日時

令和 8 年 6 月 24 日（水）13:30～14:00

2. 場所

安全衛生総合会館 8 階 大会議室（オンライン併用）

3. 出席者

会員：出席 20 会員（Web 参加 19 会員を含む）委任状 19 会員

欠席 1 会員

計 40 会員

役員等：会長、副会長、事業検討委員長 計 3 名

来賓：樋口 政純 様

（厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課産業保健支援室 室長）

事務局：中央労働災害防止協会 計 3 名

4. 総会成立の報告

総会成立について司会（事務局中災防技術支援部技術指導課長）から次のとおり報告を行った。

現在の会員数 40 会員のところ、本日の出席者及び委任状提出の会員は合計 39 会員であり、全国衛生管理者協議会会則（以下「会則」という。）第 12 条第 3 項の総会成立要件である過半数の出席を満たし、令和 8 年度総会は適正に成立している。

5. 開会挨拶

全国衛生管理者協議会の川本俊弘会長から次の開会挨拶を行った。

全国衛生管理者協議会会長の川本でございます。令和 8 年度全国衛生管理者協議会総会の開催にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には平素から本協議会の事業運営に対して多大のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日は厚生労働省から産業保健支援室長の樋口政純様にご来賓としてご来場頂きました。誠にありがとうございます。

本協議会は、衛生管理者に対する労働衛生にかかる各種情報の提供や研修会開催等の活動の促進支援を行いながら、衛生管理者の資質向上を図るとともに、事業場における労働衛生管理体制を充実させることを目的に平成 6 年に設立され、今年で満 32 年を迎えることとなりました。

これもひとえに会員の皆様と全国の衛生管理者の皆様の本協議会へのあたたかいご理解とご支援の賜物と感謝を申し上げる次第です。

本協議会事業検討委員会では、衛生管理者能力向上テキストの見直し作業を進めていただいております。メンタルヘルス、ストレスチェックの義務化拡大、熱中症対策義務化、高年齢労働者への配慮の努力義務化、個人暴露測定の公正化、一般健康診断の検査項目の改正等が焦点となっております。

また、今年 9 月に札幌開催の全国産業安全衛生大会にて、東京、神奈川を中心に会員様の活動状況をご報告いただく予定です。

日本の人口減少と高齢化は年を追うごとに進行しており、これに伴い労働人口構成、労働環境も大きく変化しています。このような状況のもと、衛生管理者を取り巻く状況は大きく変わりつつあり、同時に期待されるものもますます大きくなっていると考えております。

全国の衛生管理者がますます活躍できるためにも、本協議会に求められているものは大きいと改めて感じる次第です。会員の皆様のお力を一つにして、衛生管理者の発展、さらには日本の労働衛生の向上に努めていければと考えております。

最後に、会員の皆様方のご協力、ご支援をお願い申し上げるとともに、会員の皆様方のご発展を祈念いたしまして簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

6. 来賓挨拶

厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課産業保健支援室長の樋口政純様より来賓の祝辞を次のように賜った。

本日の総会が盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。

全国衛生管理者協議会の皆様、ならびに会員の皆様、さらには全国の労働基準協会の皆様におかれましては、労働安全衛生行政につきまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年 12 月に取りまとめられた労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会の報告書がまとまりました。これに関連いたしまして、三点の事項についてご報告申し上げます。

第一点目は、一般健康診断の見直しについてでございます。

令和 9 年度の 4 月から、健康診断に血清クレアチニン検査が追加されることとなります。一方、医師の判断により省略とされていた結核検査が省略となることとなります。各健診機関でご準備いただいていると存じますが、この制度改正につきましてご周知のご協力をいただければ幸いです。

第二点目は、女性労働者の健康課題への対応についてでございます。

本年 1 月に、健診機関向けおよび事業所向けのマニュアルを公表させていただきました。本年 4 月からは、厚生労働省が示す標準問診票に、女性の健康課題に関する項目を追

加させていただきました。健診機関においては、女性の健康課題に対応できる体制の構築を進めているところでございます。事業所におかれましても、健康課題でお困みの方への対応につきまして、当省で公開している資料のご周知および実施についてご協力いただければ幸いです。

第三点目は、歯科健診に関するところでございます。

一昨年の 7 月に、問診において歯科疾患の不具合がある方への専門医の受診勧奨に関するチラシを健診機関に配布してまいりました。現在、高齢労働者の多くが歯科疾患にかかっている状況にございます。事業所におかれましても、従業員の歯科健診受診についてのご協力をいただければ幸いです。

また、現在進行中の項目といたしまして、「攻めの予防医療」という取組がございます。

本年 2 月の総理の施政方針演説においても、がん検診、歯科健診、ならびに女性の健康課題を含めた「攻めの予防医療」を進めるというメッセージが示されたところでございます。これは、病気の早期発見と早期治療を、職域、国民、自治体など様々な分野で進めていくものでございます。

当省におきましては、事業所における労働者の健康保持増進のあり方に関する検討会を開催し、主に THP の見直しを進めているところでございます。今後、労働行政に限らず、政府全体として攻めの予防医療を推進することになりますので、厚生労働省のみならず経済産業省を含めた関係機関からもメッセージ発信させていただく予定でございます。皆様のご協力をいただければ幸いです。

職場における労働衛生の推進につきましては、現場で中心的な役割を担われている皆様衛生管理者の活躍が不可欠でございます。今後も専門の知見を生かしていただき、職場の健康管理の推進にご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、本日のご参加の皆様のご検討とご活躍、ならびに全国衛生管理者協議会のますますの発展を祈念いたしまして、私の祝辞とさせていただきます。

7. 議長選出

会則第 12 条第 2 項に基づき、川本会長が議長に選任された。

8. 議事録署名人の指名

本総会の議事録署名人として、次の 2 名が議長から指名された。

議長（全国衛生管理者協議会会長）川本 俊弘	殿
全国衛生管理者協議会副会長 神津 進	殿

9. 第 1 号議案 令和 8 年度役員体制について

事務局長から次のとおり報告があった。

(1) . 協議会役員体制

会 長 川本 俊弘

中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 所長

副会長 神津 進

東基連衛生管理者協議会 会長

HOYA(株) 環境・安全衛生部 安全衛生グループマネージャー

幹 事 田吹 光司郎

大分県衛生管理者協議会 代表幹事

一般財団法人西日本産業衛生会 大分労働衛生管理センター環境測定 参事部長

幹 事 和久井 秀則

公益社団法人愛知労働基準協会 専務理事

監 事 松崎 勉

公益社団法人千葉県労働基準協会連合会 専務理事・事務局長

(2) . 議案承認

質問意見等はなく、第 1 号議案は承認された。

10. 第 2 号議案 令和 7 年度事業報告及び決算報告について

事務局長から次のとおり報告があった。

(1) . 令和 7 年度事業報告

令和 7 年 6 月 27 日に総会を開催し、出席は 14 会員(Web 参加 12 会員を含む)、委任状 20 会員、欠席 6 会員であった。

事業検討委員会については年 3 回実施し、衛生管理者能力向上テキストの見直し、認知度向上の検討等を行った。

会員活動に関する援助として、会員のうち 14 団体から申請をいただき、計 658,920 円の活動援助を行った。

(2) . 令和 7 年度決算報告

全国衛生管理者協議会の活動促進に係る収入は全額中災防からの活動費援助によるものである。決算額は 797,520 円となった。

支出の部では、協議会運営費として 138,600 円、協議会会員への援助金として 658,920 円を支出した。

(3) . 監査報告

松崎監事が監査報告を行った。

令和 7 年度における全国衛生管理者協議会の業務、経理の状況について、資料 06 の通り、適正に実施されていることが報告された。

(4) . 議案承認

質問意見等はなく、第 2 号議案は承認された。

11. 第 3 号議案 令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

事務局長から次のとおり報告があった。

(1) . 令和 8 年度事業計画について

① 事業活動の企画、実施

- 事業活動の企画・実施として、総会を開催する。
- 委員会を年 4 回開催し、次の検討を行う：
- 能力向上教育のテキスト見直し
- 衛生管理者間の情報共有、連携強化に資する手段の検討
- 会員を含めた教育機関に対して、より実践的な内容での教育を実施できるような情報提供等支援
- 各地域の衛生管理者協議会の活性化に向けて成果を出した協議会に対してのインセンティブを与える仕組みの構築
- 全国協議会の認知度向上のための取り組みを検討・実施。9 月に全国産業安全衛生大会（於札幌）にて団体間交流の事例発表を実施予定。

② 衛生管理者の活動する場づくりの促進

全国協議会は、中災防主催の全国産業安全衛生大会労働衛生管理活動分科会において、衛生管理者による研究発表等がより多く組み込まれるよう、会員への発表勧奨に努める。

③ 会員の活動の促進

全国協議会は、会員が傘下の衛生管理者が積極的に意見交換や情報交流できる会合等の開催を促進する。これに要する費用の全部又は一部を中災防が援助できるものとする。

(2) . 令和 8 年度予算案について

本年度の協議会の名目上の予算は 0 円とした。なお、事業執行に関して中災防にて支出することとし、協議会運営費として 429,000 円、協議会会員への援助金として 1,000,000 円が計上されている。

(3) . 議案承認

質問意見等はなく、第 3 号議案は承認された。

12. その他

事務局より令和 7 年度の衛生管理者等支援に係る会員様活動状況並びに経費援助の実績について報告があった。

衛生管理者支援事業の実施状況については、会員数は常に 40 会員台を維持しており、活動の実施回数は 14 から 18 回の推移で、実施率は 35 から 40%である。

開催回数別では、山形会員で最多の 5 回、次いで青森会員で 4 回、福井会員で 3 回、その他会員では 1～2 回という実績となっている。

事業の内容としては最多が講演で 61%、次いでグループ討議及び交流会となっている。

令和 7 年度の参加者は合計 1,680 名で、前年の 1,617 名とほぼ同水準であった。属性別では衛生管理者が 63%と最多で、続いて衛生推進者が 10%を占めている。

援助金の執行状況は、昨年度の予算 100 万円に対して 658,920 円を支出している。従来の予算 600,000 円から増額し、ほとんどの会員様で上限の 50,000 円で請求をいただいているところである。

その他含め議案に対する追加での質問、意見等は無かった。

上記の通り、令和 8 年度全国衛生管理者協議会総会における議事録として承認する。

令和 8 年 7 月 6 日

議

長

川 本 俊 弘



議事録署名人

神 津 進

